

# 2015年度(平成27年度)事業報告書

## 2016年度(平成28年度)事業計画

2016年度(平成28年)6月12日

埼玉県ふじみ野市上福岡5丁目4番25号  
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

代表者氏名 石井ナナエ

電話番号 049-256-4290



事業報告一覧.....	2	4 外国籍児童並びに成人への日本語指導	
総括報告 .....	3	4-1 日本語教室 .....	10
		4-2 国際子どもクラブ(若者応援ファンドを含む)...	11
1 外国人の人権擁護と自立支援		5 子どもの健全育成 2015年度(平成27年度)実施なし	
1-1 生活相談 .....	3	6 外国人への緊急時対策 2015年度(平成27年度)実施なし	
1-2 シェルター .....	4	7 まちづくりの推進	
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	5	7-1 行政との協働事業.....	13
1-4 パソコン教室 .....	5	7-2 行政関係会議・関係事業.....	14
2 国際理解教育と国際交流の推進		8 NPO への助言・援助	
2-1 国際理解講座, イベント .....	6	8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク .....	15
2-2 国際交流サロン .....	7	9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
2-3 大学との協働 .....	7	9-1 機関誌「ハローフレンズ」 .....	17
2-4 インターシップの受け入れ.....	8	9-2 ホームページ・Facebook.....	17
2-5 語学教室.....	9	9-3 広報.....	18
3 多言語情報の収集と提供		9-4 FICEC 利用状況.....	19
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」 ...	9	9-5 その他 [FICEC 事業・理事会・スタッフ会議]	
3-2 生活ガイドホームページ .....	10	.....	19
3-3 翻訳.....	10		

事業計画 .....	23
------------	----

事業計画一覧

## キーワード

# 多文化が未来を拓く

## ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国ルーツの人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

## ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する。
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする。
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する。 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する。
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する。
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る。
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる。 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する。



## 2015 年度(平成27年度) 事業報告

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)
外国籍等市民の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10名	612件	2,196
	シェルター	通年	FICEC	10名	延 222名	
	DV 講習会・生活相談勉強会	6回	FICEC 他	10名	60名	
	パソコン教室	第2,4木曜 24回	FICEC	2名	延 94名	
国際理解教育と国際交流の推進	国際理解講座・イベント	24回	小中高校、社協 他	5名	約 3,000名	286
	国際交流サロン	6回	FICEC 他	5名	約 200名	
	大学との協働	1大学	大学・県 NPO 活動推進課	3名	延 45名	
	語学教室	87回	FICEC	2名	延 130名	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回 3000部	FICEC	13名	12万人	1,678
	生活ガイド HP 維持管理	1回	FICEC	8名	アクセス数 95,219件	
	翻訳	70件	FICEC、県内	20名	埼玉県民	
	出版、編集	1部	FICEC 他	6名	埼玉県民	
外国籍児童並びに成人への日本語指導	日本語教室	木曜を中心に通念	FICEC	11名	延 450名	1,444
	国際子どもクラブ 若者ファンド	土曜を中心に通年	FICEC	15名	延 999名	
子どもの健全育成	2015 年度(平成 27 年度)実施なし					
外国人への緊急時対策	2015 年度(平成 27 年度)実施なし					
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	30名	埼玉県民	
NPO への助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	17回	県内	3名	埼玉県民	
その他この法人の目的を達成するために 必要な事業	機関誌の発行	隔月	FICEC	11名	6,000部	
	ホームページ・Facebook	随時	FICEC	3名	アクセス数 442,875件	

## 《総括報告》

2015年（平成27年）に日本を訪れた外国人は1973万人となり、外国に出かける日本人の数（1621万人）をはるかに越えた。法務省の統計によると、日本に在留する外国人も今までの最多の223万人となり、全人口の1.71%を占めるようになった。特にベトナム人留学生やネパール人技能実習生が急増している事は、ふじみの国際交流センターを訪れる外国人模様でも実感できる。難民申請をしたが認められず仮放免状態のアフリカ人も目立った。

テレビや新聞の報道によると、外国人観光客誘致をめぐって、地図記号の訂正、SIMカードの無料配布、音声翻訳システムを搭載した救急車の開発、オリンピック病院の選定、タブレットを使った問診システムの準備の加速等、外国人のための施策が急激に動き始めた感がある。すべてがオリンピック、パラリンピックのためと考えると口惜しいが、この機会を利用して、今まで少しも省みられなかった在住外国人の生活向上に役立つと思えば、在住外国人の基本的な生活についての提案ができる絶好のチャンスといえる。

爆買いなど華やかなニュースが飛び交う中、今年もふじみの国際交流センターには大勢の外国人が訪れ、生活に密着した平凡で深刻かつ地道な活動が繰り広げられてきた。

加えてスタッフ不足や運営資金不足と、頭を悩ませることも多い中で、うれしい出来事もあった。

「読売教育賞」「埼玉ふれあい教育賞」の2つの賞を受賞した事である。「中央ろうきん」から「若者応援ファンド」の助成を受け、「就労を目的とした外国籍児童の学習支援」に力を入れることができ、5人の受験生全員が高校の入学試験に合格できた。このように外部組織から活動資金を得たり、東入間遊技業防災防犯協議会をはじめとして大勢の皆様からの寄付、埼玉県労働者福祉協議会からはフードバンクの提供を戴いたり、皆様に支えられながら外国人支援活動が出来る事にいつも感謝している。

（文責：石井ナナエ）

---

## 1 外国人の人権擁護と自立支援

### ■1-1 生活相談

2012年（平成24年）の入管法改正に伴い、在留カードの交付開始から4年が過ぎたが、「皆保険制度」や日本のさまざまな届け出制度が理解できないまま問題を抱えてしまった人からの相談が目立った。転入時に説明を受けているはずなのだが、日本語での説明を理解できなかったに違いない。生活相談をしていると多言語での情報提供の重要性がひしひしと感じとれる。

全体的にみると、今年は少し景気が上向いて外国人が容易に仕事を得ることができた様子で、平年に比べると相談件数は減っている。仕事がないとイライラしたり、鬱状態になり夫婦間の争いが増えるのだろう。

反面、親が行方不明とか無国籍とか、犯罪を犯したという重い問題が持ち込まれたり、市町村の子育て支援課や児童相談所、保健センターなどの公共機関からの質問が多くあった。行政職員は入管法を覚える間もなく移動がある。一方 FICEC は 18 年も外国人の諸問題に関わっているわけで、FICEC を信用して相談を持ち掛けたり、必要な情報を得る場所として活用してもらえるのは嬉しい。これからも互いに信頼しあい協働していきたいと思う。

今年特に心を悩ませられたのが生活保護受給者からの、別のところに引っ越しをしたいとか、かかりつけの医者は信用できないからもっと良い医者に変えたいとか、保護費だけでは生活が苦しいという相談だった。「外国人に生活保護費は払うな」という風潮が強い中で、わがままとしか思えない内容が多く、そのたびに「全部他人に頼るばかりではだめ。もう一度生活を見直してみよう」と諭すことが多かった。

## 2015 年度(平成 27 年度)中に受けた相談内容の内訳

医 療	医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存	30
家 族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	65
教 育	日本語支援、学習支援、入園・入学手続き、学校との連絡	179
言 語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	82
司 法	税金、犯罪、裁判所・法務局への同行・支援、子どもの国籍	18
住 居	住まい探し、引越しの手伝い	18
生 活	生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き、遺族年金	129
入 管	ビザ、在留カード申請・更新、帰化、帰国、保証人	40
労 働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害、労災保険	51
合 計		612 件

※月に数件、継続的に対応している日本語支援や学習支援は1人につき、1回/月として集計

### 相談者の居住地

ふじみ野市	343
富士見市	124
川越市	25
朝霞市	16
新座市	15
東松山市	13
三芳町	11
川口市	10
所沢市	9
志木市	7
さいたま市	5
その他	34
計	612 件

### 相談者の国籍 (ルーツを含む)

フィリピン	208
中国	114
ネパール	102
日本	62
ウズベキスタン	20
ペルー	13
パキスタン	11
韓国	9
コロンビア	7
ブラジル	7
その他	59
計	612 件

外国人担当行政職員、  
外国人関係施設担当者、  
日本人配偶者、日本人の  
知り合いなど



### ■1-2-1 シェルター

就労が安定したせいか今年のシェルター利用者は2組にとどまった。埼玉県全体でもシェルター利用者が少なかったようだ。DV 被害者がいないのはうれしいがシェルター経営面から考えると、入居者がいなくても家賃や光熱費の基本料金は払わなければならないと頭が痛い。

シェルター入居者	子どもの数	入居期間	シェルター退去後
フィリピン女性（妊娠中）	2 人	34 日	アパートに転宅・1 週間で夫のもとに帰る
フィリピン女性	1 人	60 日	アパートに転宅後、母子で元気に生活している

## ■ 1-2-2 DV 被害者の就労を目的とした継続支援

今年度は埼玉県男女共同参画課から、「DV 被害者の就労を目的とした継続支援」業務の委託を受けた。生活指導・金銭管理・整理整頓・食生活・健康管理に関する指導等、いままですべて無償でやってきた事業に予算を付けてもらい、シェルター事業開始以来 18 年目によりやうく家庭訪問や同行支援費をスタッフに払うことができた。事務所の家賃や電話代の一部も負担してもらい、すこしほっとしている。この事業委託が継続できることを期待している。

DV 被害者の多くは、シェルター退去後もリピーターとして相談にのっている。離婚後の生活の仕方、就労相談、虐待を受けた子どものリストカット、実父から性的虐待された女児のトラウマなど、相談は尽きることがない。

特に永住や定住ビザを持っているシングルマザーの中には、インターネットや LINE、Facebook で知り合った日本に来たがっているビザのない外国人男性との恋愛や再婚の相談も多く「だまされないように気をつけなさい」と話して聞かせている。

DV 法が成立して 10 年。立派に立ち直った被害女性もたくさんいる。これからも彼女たちに寄り添い、よき相談相手となって、皆が普通の生活ができるようにサポートしていきたい。

継続支援の状況	対象家族	子どもの数	支援の内容
継続途中の家族	20 家族	31 人	生活指導・自殺予防・子育て・3 大義務
終了した家族	3 家族	6 人	就労支援

## ■ 1-3 DV 講習会・生活相談勉強会

生活相談学習会		
12/7	学習・東京弁護士会	弁護士会館
12/16	学習会・福祉関係者学習会	ふじみ野市役所
2/19	生活相談・富士見市引き継ぎ会議	FICEC
3/10	生活相談勉強会・17日・24日	FICEC

## ■ 1-4 パソコン教室

例年通りの外国人枠・スタッフ・日本人枠の 3 ブロック体制で行った。

従来からの受講者のレベルはかなり向上しているが新規にスタートした方々の定着率があまり良くない状態である。2016 年度は新規受講者を若干増やして、より多くの方々にパソコン習得に意欲的になって頂ければと思う。外国籍の方、スタッフのみなさん、是非チャレンジしていただきたい。

月	回数	講師
4 月	2	4
5 月	2	4
6 月	2	4
7 月	2	4
8 月	2	4
9 月	2	4
10 月	2	4
11 月	2	4
12 月	1	2
1 月	2	4
2 月	2	4
3 月	2	4
計	23 回	46 人

学習者		
外国人	日本人	合計
4	6	10
2	6	8
4	4	8
3	2	5
4	2	6
3	3	6
4	3	7
4	8	12
3	4	7
4	4	8
4	5	9
4	4	8
43 人	51 人	94 人

## ■ 2-1 国際理解講座・イベント

4/25	第2回 多文化交流イベント「ドイツの春を楽しもう」イースターエッグ 講師:シュルツ	
6/27	第4期 子ども大学☆ふじみ 「世界を知ろう!～中央アジア:ウズベキスタンの生活～」 講師:イスママイロフ一家	
8/30	(ふじみ野市誕生10周年記念事業) Let's enjoy 世界の子どもの遊び	
9/28	富士見市国際フォーラム2015 「つなげよう 広げよう BunkaのWa!」	
10/4	(ふじみ野市誕生10周年記念事業) Let's enjoy 大人のトーク 講師:劉、山崎、寺村他	
10/19	国際理解授業 ふじみ野小学校 講師:ジャムナ、イクラ、ロビミン、山崎、マリアマ	
11/24	国際理解授業 関沢小学校 講師:イクラ、マストラ、ニーランティ、市川百合	
1/30	ふじみ野市市民活動フェスティバル2016 「こんなにあるよ!まちを動かす市民力」	
2/9	国際料理教室 ふじみ野 HANA クラブ 韓国料理教室 講師:安	



## ☆国際交流イベント

今年度は FICEC 独自の活動は少なく、行政から依頼されての活動が多かった。外国人講師に声を掛けると皆さん出来る限り引き受けてくださった。外国語で大人数の前で話すのは、大変緊張することだと思う。しかし、話し始めると皆さん熱が入り、子どもたちは聞き入っている。自分の国の事を話す機会があるのはいいことだと思う。FICEC には国際理解活動を行う固定されたメンバーもいるが、この一年で、メンバー個人の状況も FICEC の事業状況も変わり、今は開店休業中である。今後、外部から、国際理解やイベントの依頼があった際、責任者やメンバーを集めるのに苦労しそうだ。希望者がいればぜひ手を挙げていただきたい。

また、各行政の対応は熱心さも予算も担当者の関わり具合も違う。そういう発見もあった。FICEC 独自で国際理解講座を作り上げるという当初の目標があったが、そちらは国際交流のスタッフが力をいれて実績を上げている。

## ☆国際理解出張講座

2020年の東京オリンピックの開催に向けて、外国人に対する興味や関心が増えたようで、新聞やテレビでも外国人関係のニュースをよく目にするようになった。外国人観光客を招き入れる目的で各県各市町村も創意工夫するよう義務付けられたらしい。そのおかげで今年は多文化共生についての講演依頼が殺到した。観光客としての外国人だけでなく、地域に暮らす外国人にも思いやりを持ってほしいと話をしてきた。

多文化共生講座	5/11 荒川区役所、5/12 飯能市、5/31 所沢中央公民館、6/11,12 嵐山女性会館、1/21 下蕨公民館、1/26 桶川市、1/30 西公民館、2/18 茂原市	
5/27	DV研修	With you 埼玉
7/31	外国人相談	北浦和合同庁舎
9/15	いきがい大学	春日部市
10/6	坂戸人権講座	坂戸市役所
11/4	国際ボランティア	城西大学
11/12	男女共同参画	坂戸市役所
11/17	外国人支援	東洋大学
12/2	上福岡1丁目社協委員研修	FICEC
12/17	人権啓発	飯能市役所

## ■2-2 国際交流サロン

4	タイ料理	ピアザ☆ふじみ
9/25	エッグタルト (富士見市国際フォーラムからの依頼)	ピアザ☆ふじみ
10/17	韓国料理	ピアザ☆ふじみ
11/21	ウズベキスタン料理	ピアザ☆ふじみ
12/5、12/6	バザー開催	FICEC



バザーを含めてイベントを合計5回開催した。前年度はクレイフラワーや生け花教室等カルチャー講座を開いたが、今年度は参加者を募るのには料理教室が良いのではと考え、料理教室のみに特化した。参加者は7名から18名程と回によって大きな幅があった。

以下は反省点である。

イベントの告知が4~5週間前だったが、参加者を集める募集期間としては短い。参加希望者の多くは4~5週間前にはすでに他の予定を入れている。少なくとも2か月前には告知が必要だと思った。ただ、あ

まり早くするとキャンセルが沢山出る懸念もある。

参加者の募集はスタッフの個人的な人脈に頼ることが多い。FICECと関わりのない人たちにどう参加してもらうかが今後の課題。

参加費が800円から1200円程度の料理教室では講師料を支払うことができなかった。結果、外国人講師の持ち出しも多くて負担をかけた。

開催前日のキャンセルが多く、2、3日前には食材を用意するので、材料費がかさんだ回もあった。

## ■2-3 大学との協働

### (1)日本工業大学日本語教材ソフト開発

数年にわたる日本工業大学情報工学科3年のセミナー課題として研究が続けられている企画。4分野にわたる外国人向け日本語ソフトの精査・研究が続いている。

5月と10月、日本工業大学の学生16名と指導を続けられている、桑野教授、橋浦准教授が訪れた。

FICEC側からは、日本語指導担当者7名、富士見日本語サークルから2名、大井親子日本語教室から1名と外部の団体責任者を交えての意見交換会となった。

ソフト内容は従来のもので改良版となっているが、学生が毎年変わるので、その都度、開発にかかわる内容に工夫が凝らされ、新しい発見が感じられる。当日の意見を持ちかえった各チームは、1月21日に発表会を実施。最終チェックにFICECからも参加して、一昨年から続けられてきた共同研究の成果が期待できる様相になってきた。

開発中の4企画内容(タイトルは仮題)は次のとおりである。

#### ●開発ソフト1 「教室にあるものを調べてみよう！」

初来日した子が小学校で見聞きするさまざまなケースを紹介し、1日でも早く学校や友達と溶け込めるよう手助けするソフト。

#### ●開発ソフト2 「簡単に覚えられる漢字の書き方」

漢字の習得はなかなか進まないもの。進捗を進めるために漢字を生き物のように静から動へとビジュアルに訴えて理解を進めさせるよう工夫したもの。

#### ●開発ソフト3 「スマートフォン対応の漢字練習帳」

漢字練習の大人バージョン。時間が有ればどこでも学べるようスマートフォンを使った漢字学習ソフト。

#### ●開発ソフト 「日本語マスター・・・とりあえず街に出かけてみよう」

町中にある生活に必要な様々な施設とその使い方を示唆するもの。病院、銀行、郵便局、警察、駅等々、それぞれの使い方を簡単に説明、1日でも早く生活に慣れてもらおうというソフト。日本語教室で大いに役立つことが予測される。

## ■2-4 インターンシップの受け入れ

### ●実習生 文京学院大学3年生

### ●期間 2015年8月1日～9月1日、週6日(土曜日又は日曜日を含む)実習時間160時間

### ●内容

#### ①イベントの準備と実施時の手伝い

- ・8月8日「ふじみ野市七夕まつり」に国際子どもクラブ「ビンゴゲームの店」を出店
- ・8月30日「ふじみ野市10周年記念事業」に国際交流「Let's enjoy 世界の子どもの遊び」の実施

#### ②夏休み国際子どもクラブ実施時に支援者として参加

土曜日の定例子どもクラブ参加5回、平日の夏休み特別子どもクラブ参加毎日2時間程度

#### ③事務の手伝い「生活相談の記録」のデータ化

#### ④多くのスタッフへの経験談や仕事内容の聞き取りを積極的に行った。

### ●成果

- ①担当者の先生と事前の話し合いがしっかりできた。



②FICEC の活動内容を大学側が理解し、学生に事前指導してもらえたので優秀なインターン生を迎えられた。

- 課題 インターンシップの担当が一人なので、160 時間の実習時間で学生を受け入れる場合、担当者の負担が大きい。有料で長期間の学生を受け入れる場合は、複数体制で準備した方がよい

## ■2-5 語学教室

英語教室〔毎月月曜日 12:30~13:30〕

韓国語教室〔毎月月曜日 10:00~12:00〕

## 3 多言語情報の収集と提

### ■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

隔月刊の発行となり、企画の選択に腐心することが多くなった。また、企画内容についても法律的な話題が多くなるにつれ、翻訳面で専門的な用語も多出するようになり、翻訳者に余分な負担をかける傾向がある。今後、内容の充実を図りつつも用語使用には分かり易さを前面に出すよう心がけていきたい。

チェック体制の充実も必要と痛感している。このことは、外部から依頼される翻訳力の増強にもつながってくるものと考えられるので、FICEC 全体の問題として強力に推進していくべきと考える。

企画会議においては、隔月刊と言うこともあるため、本来有るべき FICEC 事業の話題を多く紹介できるよう腐心しているが、時間的な制約が壁となって話題を拾うことが困難になっている。今後は年間行事を柱に話題を拾っていききたいと考える。

昨年はマイナンバー法が大きな話題となり、多くの外国籍市民の関心事となった。普及はまだ行政の目標には至らないと言うが、本紙発行ごとに話題提供を目指すことで理解の一助になったのではないかと評価している。

富士見市では「広報 ふじみ」に数年前から本誌の紹介をいただいているが、隔月刊に合わせて、本年も引き続き掲載いただいた。市内においても関係部署に配布されている。

不特定多数の市民については、ホームページ (<http://www.ficec.jp/foreign/>) でも「外国語のページ」として掲載されているのは、FICEC 力を強調できる事例として、担当される皆さんの努力に敬意を払うものである。

- 翻訳言語〔中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語〕
- 発行〔隔月刊 年6回〕〔3000部〕
- 配布場所〔ふじみ野市・富士見市・三芳町の公的機関、県下主要公的機関、国際関係機関、日本語版のみ全会員に郵送している。また各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。〕
- 活動内容〔定期的に編集会議を開催し、内容の充実を図っている。〕



209号 4・5月号	<b>新学期、学校へ出す書類がいっぱい。学校からの書類を書くのが大変です</b> ・富士見市入学準備金利子補給制度って知っていますか・4月から悩み解消「生活困窮者支援制度」が始まっています・オープンスペース FICEC サロン
210号 6・7月号	<b>外国ルーツの子ども、就職希望の若者が日本で活躍できるよう、学びの場所を作ってお待ちしています</b> ・5カ国語「ごみのだしかた」ガイドブックが完成しました・健康に注意！平成27年度各種健康診断が始まります・「多文化交流イベント」ドイツ式エッグアートに挑戦しよう
211号 8・9月号	<b>マイナンバーってなんですか</b> ・上福岡七夕まつりに参加します・遊びで巡る世界旅行・台湾のエッグタルトを楽しもう・富士見市国際交流フォーラム・デング熱にかからないために
212号 10・11月号	<b>「地震 避難所」基本にもどって自然災害について考えてみましょう</b> ・新しい国の制度です・マイナンバー「通知カード」の内容・新しい「国民健康保険証」は届きましたか・小学校入学のお子さんの健康診断が始まります・FICEC が富士見市の「いじめ防止サポーター」に認定されました
213号 12・1月号	<b>加害者から追跡されないために</b> ・「個人番号カード」を申請するには・第64回読売教育賞をもらいました・日本語教室の行事—そば打ち・書初め・ふじみ野市「市民活動フェスティバル」を実施します
214号 2・3月号	<b>朗報！「家族滞在」から「定住者ビザ」変更について</b> ・再婚禁止期間が6カ月（180日）から100日間と短くなりました・「個人番号カード」を申請してみましたか・小・中特別支援学校入学案内説明会・FICEC 日本語教室のイベント情報

### ■3-2 生活ガイドホームページ

年間約10万件のアクセス数のあるホームページで、ふじみ野市、富士見市、三芳町からの行政情報を更新し、維持管理をしている。このホームページは日本版の項目から素早く、多言語の同じページを表示できるよう工夫してある。

今年度は最終ページの施設編を全面作り変え、PDFで表示したことで施設の情報をコピーしてインターネット検索ができるよう改変した。

外国人だけでなく、行政の窓口職員や外国人を支援している日本人も、行政手続きや生活知識等の速やかな相談対応に活用してほしい。

### ■3-3 翻訳

民間からの翻訳依頼の合計数は60件で、6割を超える依頼がフィリピンの書類の翻訳であった。

- 依頼者の国籍〔フィリピン39件、日本8件、パキスタン3件、ネパール3件、ミャンマー2件、インド2件、韓国2件・ナイジェリア1件〕
- 翻訳内容〔外務省認証（出生届、独身証明書、婚姻証明書、宣誓供述書）、在職証明書、死亡証明書、戸籍謄本、住民票、各種手紙ほか〕

### ■4-1 日本語教室

学習曜日及び時間／毎週木曜日 10:00～12:00 (8/13～15、12/28～1/5 は休み)

開講回数／51日 学習者数／延べ人数 309人 平均 6.2人

学習者は少しずつ増加、平均 6.2人という数字となっている。日本経済に期待して入国する外国人や低所得でも労働の代価を求める定住者で新しい学習者が増えていると考えられる。最近の傾向としては、子ども連れの主婦が多くなってきた。またばらつきは多いがボランティアの数もわずかだが増加傾向にある。

国別学習者数 (フィリピン・中国・ベトナム・ネパール・ウズベキスタン・その他の順)



#### ●日本文化を味わってもらう事業

2時間弱と言う短時間で有るが、日本文化を楽しんでもらう試みも季節を追って開催している。少しでも日本の心を理解してもらおうと実施している。今後は、1年に1回くらいは外国籍の学習者の演出による行事なども取り入れたい。

5/3 端午の節句、7/15 七夕と納涼ソーメン体験、12/26 蕎麦打ち、1/10 書き初めおよび鏡開き、3/3 桃の節句

### ☆二市一町日本語教室ボランティアネットワーク (日本語ボランティア連絡会)

東上線沿線日本語教室の活性化のために、近隣のボランティア団体と手を携え情報交換が必須の要件である。これまで年4回開催してきたが、各教室が多忙と言う点を考え10月以降、半年毎の実施となった。今後も引き続き各教室の抱える問題を見いだす貴重な場として、丁寧な対応を目指している。

#### ●参加団体

朝霞インターナショナルソサイエティー (A I S)、イーブン、新座日本語の会、大井親子日本語教室、大井弁天の森日本語サロン、富士見日本語サークル、和光国際交流会 ふじみの国際交流 FICEC 日本語教室、上福岡西公民館日本語教室、三芳日本語教室藤久保、

開催日	幹事日本語クラス	開催場所
4/12	和光国際交流会	和光市本町地域センター
7/12	(A I S)	朝霞市中央公民館
10月	イーブン	上福岡西公民館

### ■4-2 国際子どもクラブ (若者応援ファンドを含む)

中央ろうきんから助成金をいただき、就労を目的として全日学習支援を行った。

#### ① 参加者 (平日)

単位 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	33	20	23	56	112	22	20	27	31	32	30	36	442
指導者	31	20	23	56	128	19	22	34	32	35	34	30	466
計	66	40	46	112	240	41	42	34	63	67	64	67	908

\*7,8月と12,1月は大勢の生徒が全日学習に来たため、午前と午後で指導者が交代することがあった。

\*9月から3月を通して、1,2名の生徒が週3,4回、全日学習に来た。

② 参加者 国際子どもクラブ (土曜日のみ)

単位 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	39	51	32	43	39	44	44	49	59	53	52	52	557
指導者	35	33	28	28	44	39	56	39	39	39	47	39	466
計	74	84	60	71	83	83	100	88	98	92	99	91	1023

③ その他の取り組み

- ・新規学習者に対する面接と進路相談 16回
- ・同行支援 12回  
(学校の転入手続き、進路相談会同行、入試願書手続き、高校入学手続、アルバイト支援)
- ・イベント <先輩に聞く>中学生と受験生対象 参加者 18名  
<工場見学>ボッシュ東松山工場 参加者 8名

④ 学習者のルーツ

中国	18名	フィリピン	23名	ネパール	1名
コロンビア	1名	メキシコ	1名	ミャンマー	1名
パキスタン	1名	ウズベキスタン	2名	インドネシア	3名

⑤ 今年度の取り組みに対して

〈良い点〉

- ・中央労働金庫から「若者応援ファンド」の支援を受けたので、様々な取り組みが出来た。
- ・近隣の市町(朝霞市、新座市、所沢市、坂戸市、三芳町)とふじみ野市からたくさんの参加者が学習に来ることができた。
- ・学習教材が豊富に用意できた。
- ・遠くから通う生活困窮家庭児童に交通費を渡すことが出来た。
- ・坂戸市から通う生徒を通して、坂戸市の日本語教室と協力し合えた。また、今後も協力しあう信頼関係が構築出来た。
- ・国際子どもクラブに参加するボランティアが充実しているので、とても助けられた。



〈問題点〉

- ・生徒の数が多くなりすぎた。また、年齢層も6歳から17歳と広がり、一つのクラブとしてのまとまりを持つことが難しくなった。
- ・生徒の学習内容が違いすぎて、きめ細かい指導が出来なかった。
- ・受験生に対してはカリキュラム作成の必要を感じた。
- ・夏休みは、生徒の増加に合わせて学習支援者も増やしたが、人数が多くなりすぎて、一人一人の学習進度と問題点をつかむことが出来なかった。



〈課題〉

- ・受験生に対して、日本語と5教科の大まかなカリキュラムを作る必要がある。
- ・責任が持てる範囲で、生徒を受け入れる体制を組むことが大切である。

5 子どもの健全育成

2015年度(平成27年度)実施なし

6 外国人への緊急時対策

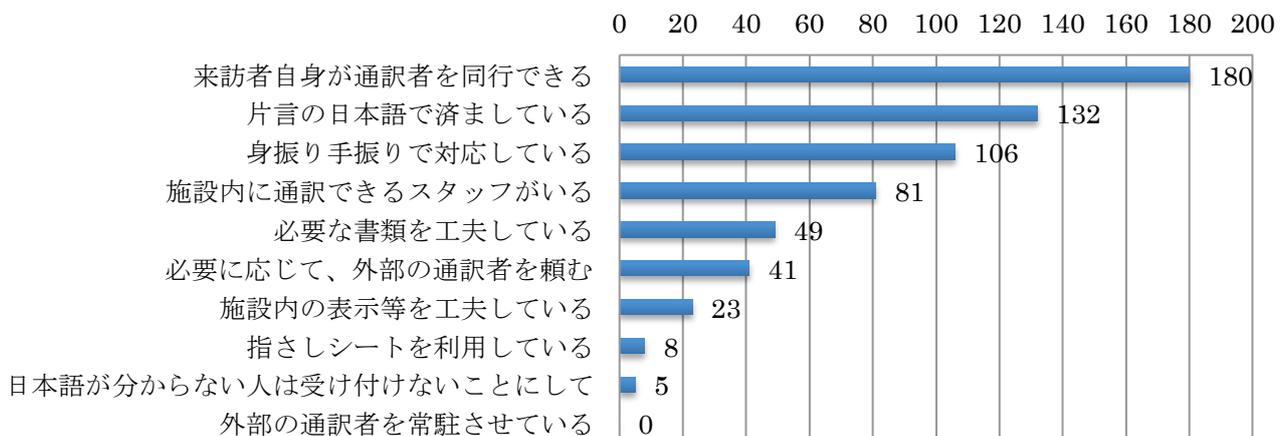
2015年度(平成27年度)実施なし

7 まちづくりの推進

■7-1 行政との協働事業

- 1) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国人生活相談窓口業務」委託(参照1-1)
- 2) ふじみ野市・富士見市・三芳町より「外国籍市民のための生活ガイドホームページ管理業務」委託
- 3) 埼玉県より
  - ・「一時保護(シェルター)の運営事業」委託(参照1-2)
  - ・国際課「生活ガイド」翻訳更新事業(英語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語)
  - ・埼玉県婦人相談センター「入居のしおり」翻訳(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・ベトナム語)
- 4) ふじみ野市生活ガイドブック更新事業(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語)
- 5) 三芳町より
  - ・平成28年度保健センター事業一覧(英語・中国語・韓国語・タガログ語版)
  - ・平成28年度家庭ごみの正しい分け方・出し方・日程(英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語版)
- 6) 埼玉県国際交流協会委託事業「外国人来訪者への対応に関する調査(多文化共生支援機関状況調査)」  
FICEC同様、埼玉県内在住外国人支援策の更なる充実を目指している公益財団法人埼玉県国際交流協会からの依頼を受け、「外国人が訪れる県内の福祉・医療機関の現場で、どのような問題がおきているのか」について、調査・分析をした。

《参照》 Q9 日本語がわからない外国人来訪者への対応は、どのようにしていますか? (件)



県内358か所の病院、15か所の保健所、89か所の保健センター、62か所の福祉事務所、8か所の児童相談所の合計532か所に〇×式の質問用紙記入方法による調査アンケートを送付した。自由記述欄を設

け、できるだけ率直な意見を記入してもらえらるるよう工夫した。

回収率は最終的に 51%になった。

サービスの提供側だけでなく、外国人サイドの意見も反映したほうが良いと考え、FICEC に日常的に通ってくる外国人に、病院に関しての聞き取り調査を実施した。

この調査結果を、行政はもちろんソーシャルワーカー、外国人相談員、通訳者などの施策検討会や学習・研修会等で活用してもらい、様々な分野で在住外国人支援体制の実現・強化につなげてほしいと願っている。

## ■7-2 行政関係会議・関係事業

外国人支援を地道に根気強く続けるうちに、2市1町はもちろんの事、県内でも、真面目で信頼できる団体として認めてもらえるようになったらしく、年々、審議会委員などの依頼が増えている。

毎日の活動に加えて委員会への出席は大変なこともあるが、在住外国人の実情を聞いてもらえる場があり、意見のいくつかは行政の施策に反映できるであろうと思うと参加する意義を強く感じ、頼まれる役割はできるだけ引き受けるようにしている。行政職員と顔の見える関係になり、各種委員の人たちにも在住外国人の諸問題を理解してもらうためにも、大勢のスタッフが役割分担して、研修のつもりで各種会議に参加し、行政や市民の人たちと関わってもらいたいと思う。

	ふじみ野市平和記念誌編集実行委員会 全 5 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市要保護児童対策会議 全 4 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市社会福祉協議会理事会 全 4 回	上福岡コミセン
	ふじみ野市ボランティア運営委員会 全 2 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市教育振興計画策定委員会 全 4 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市災害防止対策会議 全 2 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市男女共同参画会議 全 2 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市元気・健康会議全 2 回	ふじみ野市役所
	ふじみ野市社会教育委員会 全 5 回	ふじみ野市役所
	埼玉県 DV 関係会議 全 5 回	埼玉県庁
4/20, 6/1, 3/29	子ども大学みよし実行委員会	淑徳大学
6/6	三芳町協働のまちづくり「第 1 回まちづくり交流会」	三芳町中央公民館
6/27	子ども大学みよし第 1 回「入学式・バルーンアートに挑戦」	淑徳大学
7/11	子ども大学みよし第 2 回「消防・救急に学ぶ」	東入間地区消防本部防 災館
8/18	子ども大学みよし第 3 回「文房具の必需品～文房具が私たちが のところに届くまで～」	プラスロジスティクス (株) 関東物流・文具 センター
9/26	子ども大学みよし第 4 回「～三芳の名物・名所 PR 大作戦～ みよしっ子カレーもつくっちゃおう！」	中央公民館
10/8	ふじみ野市地域福祉計画審議会	ふじみ野市役所
10/24	災害ボランティア講習会・パネラー	ふじみ野市役所
10/27	ふじみ野市社会教育委員会人権講座勉強会	ふじみ野市大井総合 支所
10/27	三芳町まちづくり団体懇談会 第 5 次総合計画について	三芳町総合体育館
10/31	三芳町協働のまちづくりネット第 2 回まちづくり交流会	三芳町中央公民館

11/28	子ども大学みよし第5回 授業・修了式	淑徳大学
12/14	埼玉県社会福祉協議会議・パネラー	県民健康センター
1/13	協働のまちづくりネット まちづくりフェア実行委員会	三芳町役場
1/29	2市1町国際化担当者会議	三芳町役場
2/10	北足立郡市町職員人権講座・パネラー	和光市公民館
2/12	ふじみ野市防災会議	ふじみ野市役所
3/8	南西部地域 NPO 講座振興センター・パネラー	鶴瀬西交流センター
3/1	子ども大学みよし第8回 平成27年度総括、28年度企画運営	淑徳大学
3/12	三芳町まちづくりネット「まちづくりフェア2016」	藤久保公民館
3/22	平成27年度協働推進会議	三芳町役場

### 「平和記念誌 編集実行委員会に参加して」

ふじみ野市生誕10周年記念事業の「平和記念誌」実行委員会に編集委員として計5回参加した。

「平和」をテーマにした作文、絵、写真を市民から公募して、集まった作品を審査、優秀な作品を選んだ。応募総数が約230点もあり、集まった9名の委員で手分けして優秀な作品を絞り込んだが大変だった。実際に戦争を経験された方々の文章は壮絶で、自分の家を焼かれ、爆撃機の乗組員の顔が見えるほどの距離で命からがら逃げたなど、「このような事がまた起こってはならない。平和は大事だ。」という一言には説得力があった。

若い世代は自分の身の回りから考えて、いじめや環境問題に取り組む事で世の中を平和にしたいという考えと、身内や本やメディアから過去の戦争を学び、その事を忘れないよう伝えていきたいという思いを書いたものが多かった。全体を見ると世代から世代へ受け継がれるものがあるように思われた。ただ FICEC のスタッフとしては、「外国を知りたい」、「世界中の人と仲良くしたい」といった意見が少ないという印象があったが、なぜそうなるのかは興味深い。

表紙のデザインを依頼されたので、編集委員として感じた事をふまえて平和の象徴である鳩が自由に未来に向けて飛ぶことをイメージして作った。



### 平成27年度政策課題共同研究

2015年(平成27年)5月～2016年(平成28年)2月まで、埼玉県の自治体職員の研修機関「彩の国さいたま人づくり広域連合」主催の『平成27年度政策課題共同研究』に参加した。これは、県内の自治体職員と民間企業、NPO、大学等の職員が一堂に会して、その年の重要な政策課題を研究するというものである。最終的には各自治体の首長の前で政策提案を行った。平成26年度は、「地域ブランドプロモーション」と「ビッグデータ活用戦略」、今年度は「人口減少社会突破戦略」と「空き家有効活用」がテーマだった。

県内からは2つのNPOが参加し、FICECからはスタッフが1名「人口減少社会突破戦略」の研究グループに参加した。このグループでは、さらに3つのグループに分かれ、「自然増（県内の出生率の増加と死亡率の減少）」、「社会増（県内への移住人口の増加と流出人口の抑制）」、「雇用増（県内の雇用の増加）」の観点から研究することになり、「自然増」チームの一員として研究した。

毎月 1～2 回、自治人材開発センターに集まり、前半は講師の先生から人口減少に関する基本的な知識や、各自治体などの取り組みに関する講義を受けたあと、上述した 3 つのグループに分かれ、それぞれの観点から研究を行うという形式で進められていた。自然増チームでは、少子化の原因をグループで話し合いながら、様々なデータを調べ、どのようにしたら出生率を増加できるかに焦点を当て議論してきた。その背景には、「未婚化の進行」と「晩婚化の進行」、さらには日本人の妊娠・出産に関する医学的・科学的な知識不足、離婚数の増加など、様々な要因が見えてきた。また、日本では婚外子の割合が非常に少なく、結婚してから子どもをつくるカップルが多いため、未婚化と晩婚化の進行が出生数の増加に大きく歯止めをかけていることが分かった。それらを基に私たちは、首長へ向けて提案する 3 つの事業を考えた。



一つは、昔の「お仲間さん」のように、地域住民間での関係性が希薄化した現在、新しく男女の仲を取り持ち結婚へと結びつけ、若い夫婦が地域に溶け込みやすいように地域住民へとつなぐ役割を担う「ナコーディネーター」の育成を行う事業、もう一つは、地域で若いカップルを見守る雰囲気醸成するため、地域の様々なお店でカップルが特典を受けられる「カップル縁結びサポーター事業」、最後に離婚時の末子の年齢を調べると、0～2 歳時が最も離婚率が高いことから、男女の性質の相違や出産後の女性のホルモンバランスの変化に対する理解を促す「夫婦手帳発行事業」だ。

本研究会に参加して、人口減少社会を乗り切るには、何よりも「人とのつながり」が重要であることを実感した。若い男女がカップルになることも人と人がつながることであり、そのカップルが結婚して子どもを生み、それを見守り支えていくのも地域の人々とのつながりだ。年代性別を超えて、多様な人がつながれる仕組みをいかに創っていくか、それが豊かな地域づくりとなり、人口減少社会を支える基盤になっていくと考えている。

## 8 NPO への助言・援助

### ■8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク

開催日	種別	内容	場所
4/21, 6/11, 7/17, 9/8, 10/15, 11/19, 12/24, 1/19, 3/8		埼玉 NGO ネット定例会・勉強会	コムナーレ 9F
5/26, 6/4	国際交流・協力ネット幹事会・全体会	埼玉県国際交流協会事務所・浦和合同庁舎講堂	
6/18	南西部地域 NPO 連絡会	見学会&第 1 回運営委員会	ウエスタ川越
10/1	南西部地域 NPO 連絡会	朝霞市の高齢者福祉計画と第 2 回運営委員会	朝霞中央公民館
12/3	南西部地域 NPO 連絡会	講演会「広報紙の紙面づくりと協まちネットの活動」	三芳町藤久保公民館
2/7	NGO ネット	グローバルセミナー2016	コーププラザ浦和
3/17	南西部地域 NPO 連絡会	富士見市民大学と郷土富士見検定、第 4 回運営委員会	ピアザ☆ふじみ

## 9 その他この法人の目的を達成するために必要な

### ■9-1 機関誌「ハローフレンズ」

2015年春号（第135号）
<ul style="list-style-type: none"><li>●第18回総会のお知らせ</li><li>●外国ルーツの子供たちのための日本語、学習支援を実施</li><li>●埼玉に多文化ステップハウスを</li><li>●外国人サポートの現場から「高度人材」って何？</li><li>●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li><li>●FICECの活動／川越市民生委員学習会</li><li>●FICECの活動／第2回多文化交流イベント</li></ul>
2015年夏号（第136号）
<ul style="list-style-type: none"><li>●第17回通常総会報告！ ●広報委員会誕生</li><li>●「ビッグイシュー」誌の取材を受けました</li><li>●「国際理解講座」 ウズベキスタンの家族からイスラムの世界が見えた</li><li>●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li><li>●「すてきな隣人」／ウズベキスタンの結婚式</li><li>●FICECの活動／「国際交流サロン：タイ料理教室」 絶品「春雨サラダ」で大満足</li><li>●イベントのお知らせ “ふじみ野市誕生10周年記念事業”</li></ul>
2015年秋号（第137号）
<ul style="list-style-type: none"><li>●富士見市国際フォーラム開催「つなげよう広げよう BunkaのWa！」</li><li>●みんなで遊ぼう！ ～「Let's enjoy 世界の子ども遊び」報告</li><li>●楊くんから FICEC への手紙「日本語だけじゃなく、他の科目も勉強しなさい」</li><li>●「インターンシップの体験」文京学院大学生</li><li>●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li><li>●日本人と外国人がじっくり語り合いました ～「Let's enjoy☆大人のトーク」～</li><li>●ありがとうございます。今年も「善意の箱」をいただきました。</li><li>●FICECってどんな団体！？ ～SWOT分析 ●日本語能力試験 N1に挑戦！</li></ul>
2016年冬号（第138号）
<ul style="list-style-type: none"><li>●あけましておめでとうございます ●二つの教育賞をいただきました</li><li>●FICECを卒業した子どもたちの活躍～いつか FICEC でボランティアとして 後輩に日本語を教えたい～ 王 傲くん</li><li>●スタッフ紹介 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li><li>●振返りの感想 劉圭霖 ●パソコン教室講師紹介</li><li>●FICECってどんな団体？ ～SWOT分析</li></ul>

### ■9-2 ホームページ・Facebook

ホームページは、前年に続き「インフォメーションふじみの」と「ハローフレンズ」の最新号のPDFの掲載の継続、寄付者に活動内容についての理解を深めてもらう目的から「未来をひらくサポーター募集」のページを手直した。

Facebookは、イベントのお知らせと報告、日々の活動などをきめ細かく、写真と外国人が読んでも伝わりやすい文章で提供した。イベントの様子を動画で報告したり、ブログと連動するなど新しい工夫も試みた。

ブログは多くのスタッフに協力して執筆してもらい、様々な角度から活動の様子を伝える事が出来た。

	全体のアクセス数	トップページ等	インフォメーションふじみの	生活ガイドホームページ	ニュースルーム
2015年4月	30,629	847	11,093	5,232	4,404
5月	28,625	831	10,429	5,578	3,443
6月	32,810	830	11,236	7,319	3,270
7月	32,467	877	9,811	8,622	3,924
8月	34,061	1,011	11,135	9,032	3,827
9月	29,262	1,188	9,382	5,723	3,174
10月	34,335	944	12,093	7,853	3,177
11月	33,988	938	9,229	8,195	4,239
12月	31,996	752	10,531	7,562	4,485
2016年1月	46,395	984	15,812	11,624	6,348
2月	66,198	1,119	37,485	8,940	5,903
3月	42,109	1,000	12,927	9,539	6,557
計	442,875	11,321	161,163	95,219	52,751

### ■9-3 広報

メンバーがPRと寄付集めについての知識と理解を深めるために、ファンレイジング(民間非営利団体の活動資金集めの手法)講座に出席、また講師にもお願いして来所してもらい広報委員以外のメンバーもレクチャーを受けるなど、寄付集めについて学んだ。

まずはじめに、自分たちの組織を知りこれからの広報の方向性を見出すために有効である「SWOT分析」をスタッフ会議にて実施し、FICECの「強み・弱み・機会・脅威」をそれぞれが書き出したものを発表し、それらを表にまとめた。

その後、抽出したそれぞれの項目を掛け合わせて(【強み】×【機会】、【強み】×【脅威】、【弱み】×【機会】)、FICECの強みを活かした広報の方法や、また新たな事業の方向性を見いだした。

《参照》

#### ①「SWOT分析 結果」

##### 【強み】

- ・外国ルーツの子ども達への日本語教室
- ・多国籍のスタッフ
- ・熱い思いを持ったボランティア
- ・近隣の行政との協力関係

##### 【弱み】

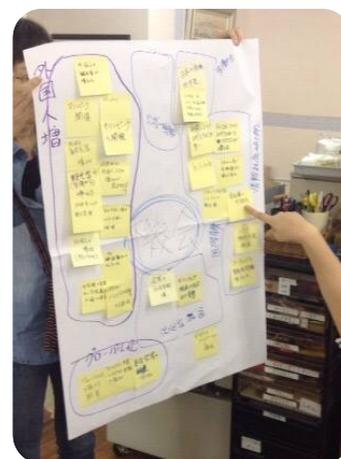
- ・拠点確保のための財政的負担の高い割合
- ・活動するための収入、資金の不足
- ・スペシャリストの不足
- ・外国人に関する問題意識の周知不足

##### 【機会】

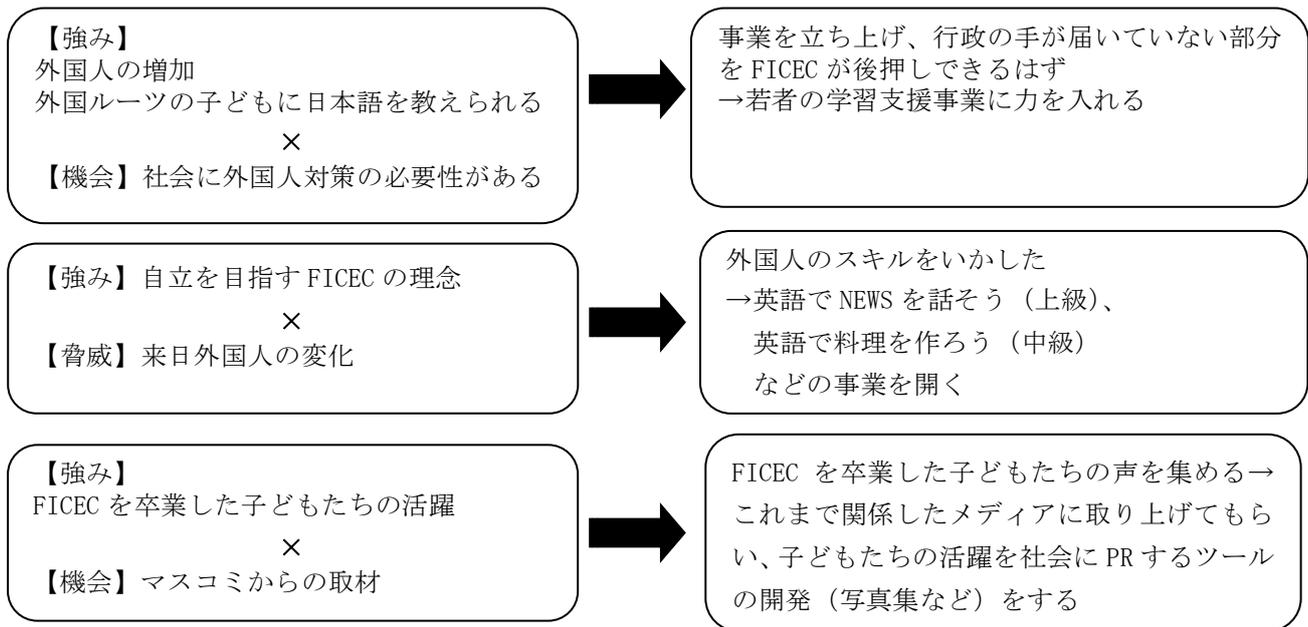
- ・スキルの高い外国人労働者の増加
- ・企業による社会貢献の広がり
- ・行政との協働機会の増加
- ・2020年オリンピックの開催

##### 【脅威】

- ・ヘイトスピーチ
- ・行政の財政の赤字化
- ・在住外国人支援に対する社会の理解不足
- ・外国籍の子どもの受け入れ体制の未整備



②「SWOT分析の掛け合わせから今後の展開を考える」



■9-4 FICEC 利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数		26	24	30	27	25	27	30	26	26	25	27	28	321
来訪者	外国人	173	140	163	226	239	150	270	200	170	200	214	204	2349
	日本人	109	112	121	103	108	69	107	95	123	81	82	77	1187
	小計	282	252	284	329	347	219	377	295	293	281	296	281	3536
スタッフ	外国人	26	24	19	27	25	25	34	30	27	16	23	24	300
	日本人	157	156	170	164	170	151	144	150	150	129	128	137	1806
	小計	183	180	189	191	195	176	178	180	177	145	151	161	2106
合計		465	432	473	520	542	395	555	475	470	426	447	442	5642

■9-5 その他（FICEC 事業を含む）

取材ビッグイシュー他 3 件		FICEC
5/16、22	会計監査	FICEC
5/19	大田原さん五行歌展覧会（6日間）	西公民館
5/28	東入間地区遊技業防犯協力会寄付金授賞式	しょうざん大穀
9/3	学習会。ファンドレイジング	FICEC
9/8	編集会議（隔月 1 回）	FICEC
11/6	読売教育賞授賞式	読売新聞本社
1/12	新年会	

●読売教育賞

読売新聞社がすぐれた業績をあげている教育者や団体を広く全国から選び、その功績を顕彰することで、現場で活躍する人々の励みとなり、ひいては多様で創造性に富んだ教育環境づくりを推進すること

を目的とした「読売教育賞」を受賞した。FICECの活動を設立当初から見守り応援して下さっていたS先生から進めていただいて、皆の意見や思いをまとめて応募した結果、地域社会教育活動部門の最優秀賞に選ばれた。

### ●埼玉教育ふれあい賞

「埼玉・教育ふれあい賞」は埼玉県内で教育活動に熱心に取り組んでいる学校や教育関係団体を表彰するもので、県国際課の推薦で受賞することができた。自分たちの知らないところで周りの人たちからの推薦で賞を戴けることを心から嬉しく思う。

二つの賞に恥じないように、責任と誇りをもって、皆で力を合わせてこれからも活動していきたい。

### 理事会・スタッフ会議

4/4	第6回 理事会	総会にむけて・決算と予算の検討・新規事業受託の報告・寄付金集めについて	7人
4/14	第1回 スタッフ会議	中央ろうきん「若者応援ファンド」進捗状況・富士見子ども大学「イスラム文化講座」・埼玉県NPO基金助成事業説明会・心理教育プログラム「びーらぶ」インストラクター要請講座・インターンシップ受け入れ・読売教育賞の応募への推薦	15人
4/28	第2回 スタッフ会議	多文化ソーシャルワーク推進事業調査 病院へのアンケート・国際交流イベント「イースターエッグ」報告・国際子どもクラブの保険・広報委員会の活動・FICECブログ・ふじみ野市民活動フェスティバル2016への参加を検討・富士見市国際フォーラム・多文化交流サロンイベント	14人
5/9	第7回 理事会	2015年度理事について・総会資料「2014年度(平成26年度)事業報告、2015年度(平成27年度)事業計画」「2015年度(27年度)予算」の検討	7人
5/12	第3回 スタッフ会議	総会資料の確認・ふじみ野市記念行事「外国の遊び」・国際交流協会委託「外国人来訪者アンケート調査」・富士見市子ども大学・新年度の事業体制	11人
5/23	第8回 理事会	読売教育賞(地域社会教育活動)の応募について・子どもクラブとシェルター担当者からの要望・個人情報を含む文書データの取り扱いについて・総会資料・監査報告	8人
5/26	第4回 スタッフ会議	国際交流協会委託「外国人来訪者アンケート調査」・季刊雑誌「はるまち」の取材・要保護児童担当者会議報告・第1回社会教育委員会報告	16人
6/9	第5回 スタッフ会議	中央ろうきん「若者応援ファンド」報告・多文化交流サロンイベント「タイ料理」・ふじみ野市平和記念誌編集実行委員会委員推薦・富士見市「いじめ防止サポーター制度」・翻訳料について	14人
6/14	第17回 通常総会	2014年度(平成26年度)事業報告、決算報告・2015年度(平成27年度)事業計画、予算	27人
6/14	第1回 理事会	新旧理事顔合わせ・役員選出	8人
6/23	第6回 スタッフ会議	ビッグイシューの取材・若者応援ファンド・保健医療機関アンケート調査進捗状況・総会の感想と反省・上福岡七夕まつり出店・読売教育賞「共に生きる」に応募・With you さいたまフェスティバル参加・富士見市国際フォーラムについて	15人
7/14	第7回 スタッフ会議	富士見子ども大学報告・「埼玉・教育ふれあい賞」・埼玉県社会福祉協議会さいか取材・インターンシップ受け入れ・日本語ボランティア募集・ふじみ野市学童フェスティバル参加・「埼玉グローバル賞」への応募	10人

7/18	第 2 回 理事会	「就労を目的とした外国ルーツの子どものための学習支援事業」・「保健医療機関における外国人来訪者に対するアンケート調査事業」・在住外国人をめぐる課題・FICEC の方向性を考える『活動を持続していくために』・理事の役割	6 人
7/28	第 8 回 スタッフ会議	「ファンドレイジング入門+ジャパングビング活用法」セミナー・上福岡七夕まつり・医療機関アンケート報告・ふじみ野市 28 年度協働行事・「国際交流基金の地球市民賞」・ふじみ野市誕生 10 周年記念事業「世界の子ども遊び」・外国人実習生の日本語学習について・FICEC 広報の許容範囲を考える・FICEC の HP から関連団体へリンク	12 人
8/25	第 9 回 スタッフ会議	ファンドレイジング勉強会・上福岡七夕まつり報告・「世界の子ども遊び」進捗状況・中央ろうきん「若者応援ファンド」・ふれあい教育賞・国際グローバル賞応募・心理教育プログラム「びーらぶ」報告・富士見市生活相談の曜日変更・中国から 20 人の視察依頼・ふじみ野市総合防災訓練への協力	18 人
9/8	第 10 回 スタッフ会議	「世界の子ども遊び」報告・インターンシップ終了報告・ふじみ野市 10 周年記念事業「大人のトーク」・富士見市国際フォーラム・テレビ取材依頼・SWOT 分析	15 人
9/19	第 3 回 理事会	4～8 月会計報告・事務員の退職に伴う職員募集について・SWOT 分析の結果報告と意見交換	9 人
10/13	第 11 回 スタッフ会議	「キューロ」設置・市民活動フェスティバル内容について・「大人のトーク」報告・韓国語教室・FICEC 当番・事務局員募集・子どもクラブのスタッフ募集・クロス分析と実行できることの検討	12 人
10/27	第 12 回 スタッフ会議	国際理解・富士見市人材バンクからの提案・ひまわり音楽教室・2017 年度(平成 29 年度)以降の三芳町健康カレンダーの受注継続について	8 人
11/10	第 13 回 スタッフ会議	読売教育賞受賞式報告と埼玉県知事より感謝状・若者応援ファンド・FICEC 開所時間延長の提案・ハローフレンズと HP の担当	12 人
11/21	第 4 回 理事会	子どもの学びの保障と FICEC の役割・FICEC の内情と今後について ・事務局体制について	7 人
12/1	第 14 回 スタッフ会議	国際理解講座報告・富士見市子ども大学反省会・労福協より携帯電話の貸与・事務局員について・生活相談スタッフの増員・Facebook やブログ等でのプライバシー基準・帰宅時の戸締りとパソコンの終了等の再確認・FICEC への迷惑や嫌がらせについて	11 人
12/22	第 15 回 スタッフ会議	「多文化ソーシャルワーク研修会」・新年会・H28 年度富士見市出張生活相談担当者の募集・NPO の次世代リーダー育成プログラム研修生募集中・進学ガイダンス「先輩の話を聞こう」・広報委員会「FICEC を卒業した子供たちの活躍 写真展」	14 人
1/12	第 16 回 スタッフ会議	ふじみ野市まちづくり審議委員・ふじみ野市平和記念誌編集会議・「FICEC を卒業した子どもたちの活躍」写真展・『人口減少社会突破戦略』・『空き家有効活用埼玉プロジェクト』合同成果発表会・2 市 1 町国際化会議・移住連(移住者と連帯する全国ネットワーク) 入会	12 人
1/16	第 5 回理事会	27 年度 12 月末までの支出状況・三菱財団社会福祉事業・研究助成金申請書・携帯電話貸与について・設立 20 周年記念行事・寄付者への対応	8 人

2/2	第17回 スタッフ会議	FICECを卒業した子どもたちの写真展の進捗状況・市民活動フェスティバル報告・日本工業大学日本語ソフト開発研究発表会・富士見市の生活相談体制・事務員募集・平日当番について・FICEC20周年記念行事	9人
2/23	第18回 スタッフ会議	2市1町の生活ガイドHP・日本語教室現状報告・携帯電話による通訳と生活相談・富士見市総合企画審議会に提案したいこと・ハローフレンズ担当者募集	11人
3/15	第19回 スタッフ会議	受験生の結果報告・4月以降の富士見市役所出張生活相談体制・取材の依頼について・日本語教室の現状・27年度事業の振り返りと28年度事業計画・子どもの写真展経過報告・行政からの翻訳対応	11人
3/29	第20回 スタッフ会議	中央ろうきん「若者応援ファンド」工場見学報告・交流サロン『ウズベキスタン料理』報告・18回総会日程と食事会について・来年度当番と日本語学習者の対応	8人



ふじみ野市誕生10周年記念事業  
お菓子を食べながら、異文化を感じてみよう!!

10th Anniversary

Let's enjoy ☆大人のトーク

約2000人の外国人が国境を越えて、生活の場・交流の場としてふじみ野市の大家族の一員になりました。世界のグローバル化が進んでいくと将来、皆さんの家の隣に外国人が住んだり、職場の仲間が外国人になるでしょう。10月4日、お互いに親近感を深めるために、ふじみの国際交流センターで「Let's enjoy ☆大人のトーク」を企画しました。お菓子を食べながら外国人と話し合い、異文化を体験しましょう。

日時 平成27年 10月4日(日) 13:00~16:00

場所 認定NPO法人ふじみの国際交流センター  
ふじみ野市上福岡5-4-25  
上福岡駅西口より徒歩4分  
埼玉りそな銀行上福岡支店 並び

問い合わせ先 認定NPO法人 ふじみの国際交流センター  
(049)256-4290

【主催：ふじみの国際交流センター 協賛：ふじみ野市】

就労を目的とした外国ルーツの子どものための学習支援

きみの勉強を サポート

日本語が  
むずかしい...  
「対1で日本語を  
教えます！」

日本の高校に  
入るには...  
高校受験を手伝います！

学校の勉強が  
苦手...  
「勉強・宿題・  
テスト対策」教えます！

いっしょに勉強  
しましょう  
いろいろな国のひらが  
なを教えます！

卒業後は  
就職できるの...?  
進路の相談に  
のります！

対象 外国ルーツ(日本語・外国籍)の  
子ども(18歳くらいまで)

学習時間 月-金 10:00-12:00, 14:00-16:00  
土 9:00-12:00

受講料 初日・年単位を別く

開催場所 ふじみの国際交流センター  
東北武蔵上福岡駅  
西口から徒歩4分  
(裏に地図)

分事前申し込みが必要です。  
初回は親子一緒にお願いします。

TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291

本事業は「中央ろうきん「若者応援ファンド2015」の助成により実施するものです

## 2016年度(平成28年度)事業計画

政府が2020年の来日外国人目標を現在の倍の4000万人と発表した。観光客としての外国人ばかり取りざたされる中で、改めて定住外国人の推移を調べてみた。

1947年外国人登録令で朝鮮人や台湾人が外国人とみなされるようになり、1952年に外国人登録法が施行され、1980年代にはブルーカラー従事者の人手不足を外国人労働者で埋め合わせる機運が生まれ、東南アジアやアフリカから大勢の外国人男性が入国した。彼らの大半は3、4年日本で働いた後、帰国している。

入管法には「日本で働くには高度な知識や技術が必要」と書かれているのもかかわらず、1981年、日本人男性の海外売春ツアーが世界から輦蹙を買い、興行ビザができ、フィリピンを筆頭にたくさんの外国人女性が日本人妻になった。彼女たちの大半はすでに永住ビザを取得し、日本人の子どもの母としてたくましく暮らしている。

1990年の出入国管理及び難民認定法改正により、日系2世3世まで就労可能な地位が与えられた結果、日系ブラジル人、日系ペルー人や中国人を中心に外国人労働者が増大した。当時「日系人は就労可」と書かれた求人募集を見て、何とも不思議な感じがしたのを今でも忘れない。

2012年から「在留カード」が交付され、90日以上在留資格のある外国人は、日本人と同じ住民基本台帳に登録され義務や権利も日本人に準用されるようになった。外国人の人権がようやく認められた年である。

2016年の今年、特に気になるのが難民申請中で「仮放免」許可をもらったアジア・アフリカ人がFICECにも多く来るようになった。法務省の報告によると「救済されるべき難民と言うよりは留学・技能実習の在留資格を持った人が就労目的で難民申請している人が増えている。人道上の配慮で2010年以降、申請から半年を過ぎると就労が認められるようになった。再申請を繰り返せば働き続けられるため、就労目的の申請が増加しているとみられる」と報告された。FICECでも今年は難民とかかわることが増えると思える。

永年外国人支援を続けているが、最重要支援は日本語教育だという気持ちは年を追うごとに強くなる。第2言語としての日本語教育の必要性・緊急性・重要性を繰り返し訴えていくことも、今年の大変な活動と考えている。

幸か不幸か、新年度に入ってテレビ局・記録映画ディレクター・雑誌記者から取材の依頼が殺到している。彼らの力を借りて、在住外国人の実情や、第2言語としての日本語教育の必要性、多言語での情報提供の必要性、外国人の人権等について引き続き社会にアピールしたい。

FICECの活動を始めて20年目に入った。昔風に言えば、満19歳、数え20歳になった。来年度満20年をお祝いできるように、今年も皆で力を合わせ、時代に即して、必要不可欠と思える充実した活動を続けていきたい。

(文責：石井ナナエ)

	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国籍等市民の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10名	600件
	シェルター	通年	FICEC	10名	延300名
	DV講習会・生活相談勉強会	10回	FICEC、県内	10名	80名
	パソコン教室	第2,4木曜 24回	FICEC	2名	延150名
国際理解と国際交流の推進	国際理解講座	20回	小中高校、公民館他	12名	3,000名
	国際交流サロン	5回	FICEC	6名	200名
	大学との協働	1大学	FICEC、県内	3名	100名
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回 3,000部	FICEC	13名	10万人
	生活ガイドHP維持管理	3回	FICEC	8名	アクセス数 100,000件
	翻訳	随時	FICEC	15名	埼玉県民
	出版、編集	随時	FICEC	5名	埼玉県民
外国人児童及び成人への日本語学習支援	日本語教室	木曜	FICEC	12名	延400名
	国際子どもクラブ	土曜、 長期休暇中	FICEC	10名	延500名
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	20名	埼玉県民
NPOへの助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	20回	県内	3名	埼玉県民
その他	機関誌の発行	季刊	FICEC	10名	6,000部
	ホームページ Facebook	随時	FICEC	8名	アクセス数 400,000件



## ■生活相談

富士見市役所で出張生活相談を始めて2年が過ぎた。早寝早起きの苦手な外国人がもっと利用しやすくなるように、今年から毎週木曜日の1時～4時に時間を変更して行うことになった。

三芳町からも出張相談を依頼されているがなかなか実現できないでいる。代わりに、埼玉県労働者福祉協議会からお借りしている10台の携帯電話を活用して、同時通訳できるようにした。このために、5人の外国人スタッフが無償で毎日、電話を携帯してくれている。「後から来た同国人の為に役に立ちたい」といってくれる彼女たちは、なんともありがたく心強い。



**変更通知**

富士見市政府内の「外国人生活相談」  
毎週四午後1点～4点。

FICECの外国人生活相談中心から開設以来、已经连续从事重要活动20年了。  
富士见市政府内也有在每周四午后1点到4点设置外国人生活咨询窗口，在外国人服务方面充分发挥了作用。  
至今为止，咨询窗口的营业时间是上午，很多顾客反映说很不方便，因此，从4月开始，咨询窗口的时间变更如下。 ◆◆◆ 每周四午后1点-4点 ◆◆◆

FICEC 事务所的外国人咨询时间照旧，即：每周一到周五的10点到16点。  
不论您的烦恼是有关家庭的，健康的，孩子教育的，还是有关工作的，有关争议的，在这里您都可以得到免费咨询服务。

TEL. 049-269-6450

## ■シェルター

外国人DV被害者女性には子だくさんの人が多く、1Kのシェルターでは収容出来ない家族が増えてきた。そのため、アパート転宅後4人も5人もの子供を母親1人では面倒見きれないことに気が付いて、家に戻ってしまう例があった。もしもシェルターに全員で避難できていたら、もっと早いうちにそれに気が付き、多額の税金を使わないで済んだかもしれない。もう少し広いシェルターが借りられたら良いのだが、入居者が1年に2組などという事態を考えると、思い通りにいかない。経営を考えるべきか、人情が先か、新年度を迎えるたびに思いあぐんでいる。

## ■生活情報誌「インフォメーションふじみの」

- ①6カ国語の翻訳について、正確を期するためにダブルチェックを実施。
- ②2016年度(平成28年度)より富士見市市役所2階のFICEC相談室が木曜午後となった。出来ればここにもFICECの資料のひとつとしてインフォも常備できればと思っている。
- ③オリジナルの表紙デザインは、引き続き日本語教室のボランティア林さんに依頼したい。
- ④ 去年は法律の改定もありシリーズ化した月もあった。今後は企画によっては増ページも視野に入れていれて内容の濃いものとして扱いたい。

## ■「日本語教室」

- ①昨年後半から実施している指導者の意見交換会を本年も定期的に行いたい。さまざまな意見の集約が、新人教育にも役立つものになりうると考える。
- ②28年度も日本文化の体験イベントを考えたい。内容的に新鮮味が感じられるものも含めて4から5回は実施できないか。ときには親睦を兼ねて、学習者企画も考察したい。
- ③毎年企画して実行できなかった「駅からFICECまでの道順詳細図」を作成してみたい。出来上がった地図は駅近くの交番や役所などの公共施設に置く予定。作成にあつては、体験学習に来られる大学生に依頼をしたい。
- ⑤季節のイベントの他に、8月28日に9都県市合同防災訓練がふじみ野市の主催で行われる。学習者の参加を呼び掛けたい。

## ■国際子どもクラブ

- ・「中学校は卒業したものの、学力不足で高校に進学できない。」「15才を過ぎて来日したため、受け入れてくれる学校がない。」このような、行き場がなくて困っている青年に昨年度はたくさん出会った。日本で生きていく選択をした彼らが、未来に希望を持てるように高校進学への支援に力を入れたい。
- ・日本語が十分ではないという理由で、義務教育年齢であるにも関わらず、学校に入る事を拒否されている小中学生が少なからずいる。居住地の教育委員会や学校と連絡を取り合い、全員学校に受け入れてもらえるように支援したい。
- ・国際子どもクラブの運営費を生み出すために、資金集めの方法を考えたい。

## ■日本工業大学との協働による学習ソフトの開発

本企画は3年生の研究課題として開発されており、年が変わるごとに新しい3年生が、企画を引き継いで完成を目指すという方式をとっている。

企画内容については、より使い勝手のある物を研究したいとの話もあり、年間を通して交流を密にし、作業の進捗に協力したい。可能ならば並行して文字媒体によるテキストの作成も視野に入れられないかも検討素材としている。本年は、一部完成品も入手可能の予定であるので、実際に学習者に使用するためにDVDを見る機器を入手したい。

## ■翻訳スタッフの開発を地域の中で

今後も委託を受けて受注が多くなると考えられる。翻訳業務において、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、英語等、日頃から翻訳スタッフの開発を引き続きやっていきたい。

## ■国際理解イベント、インターンシップの受け入れ、国際交流サロン

担当スタッフ不足のため、ふじみ野市、富士見市、三芳町以外からの委託は縮小していく。

## ■広報

現在、「FICECを卒業した子どもたちの活躍」というテーマで、かつて子どもクラブに在籍していた外国ルーツの若者たち数人に協力を要請し、写真撮影とインタビュー取材を行っている。

FICECで勉強したり遊んだりした当時の話、また自分たちの現在とこれからについて語ってもらうことで、親につれられて来日した若き外国人としての彼・彼女たちがいかに日本に根をおろしていったか、それにあたりFICECがどう関わったかが写真と文章の両方からよく伝わる内容となっていると思われる。

既に何人かの分を終了し一部ハローフレンズに掲載済であるが、最終的には外部での写真展、宣伝ツールの作成を計画中である。この事業を引き続き形にしていきたい。